

## 若手会員の会 活動報告

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jws/welnet/>

(若手会員の会からのお知らせはホームページにも掲載しています)

### 2006 年度春季イブニングフォーラム開催の報告

武市祥司 (若手会員の会運営委員会委員, 東京大学)

Report: Evening Forum of Japanese and Korean Young Researchers on 2006 Spring

さる4月13日(木)の溶接学会全国大会の2日目の夕刻に開催している、当会のイブニング・フォーラムについて報告を行います。今回は、第2回日本-韓国の若手溶接研究者の合同シンポジウムの韓国からの参加メンバーを交えて、「Forum of Japanese and Korean Young Researchers」と題したフォーラムを開催しました。午後の時間いっぱいを使って行われたシンポジウムの終了に引き続き、以下の4件の講演でイブニング・フォーラムを執り行いました。

開催日：2006年4月13日(木) 17:15～18:40

開催場所：東京ビッグサイト 会議棟 608 会議室

1. Activities and Visions of WELNET

Shoji TAKECHI (The University of Tokyo)

2. The State of Art of the Welding in Korea

Yeong-Do PARK (Dong-Eui University)

3. JWS & JWES Today

Hiroshi KAWAKAMI (Mie University)

4. Difference in Research Attitude between Korean and Japan Style

Yun-Sung CHANG (graduate student of  
The University of Tokyo)

今回のフォーラムは、シンポジウムで議論できなかった、お互いのバックグラウンドや周辺環境をざっくばらんに紹介して交流を深めようという意図で実施しました。まずは、筆者が若手の会の活動を紹介するとともに、特に今後のアジアにおける人的交流および研究の交流となるプラットフォームをつくりたいという趣旨の講演を



図1 イブニングフォーラムでの講演の様子。

行いました。これに対して、韓国側のメンバーからの力強い賛同の意見をいただき心強く感じました。続いて、パク氏からは、韓国の溶接界の最新事情、特に今回の参加メンバーの所属する機関を中心に紹介いただきました(図1)。ポスコ社やヒュンダイ社の研究所では、溶接にかかわる研究者数はそれぞれ数百人規模で在籍しているとのことでした。このような点でも韓国の勢いを感じざるを得ませんでした。引き続き、川上氏から、溶接学会と日本溶接協会の紹介と、日本における溶接の研究テーマのトレンドの変遷を紹介いただきました。韓国側のメンバーからは、やや韓国の方がトレンドは遅れているが、現在人気のある研究テーマはほとんど同じような状況であるとの感想がありました。最後に、筆者の以前在籍していた大学研究室に所属する留学生で大学院博士課程に

在学中のチャン氏には、日韓の大学の気質の違いを話していただきました。彼によると、韓国を一語で表すキーワードは「孝」で、日本は「忠」だそうです。なかなか面白い気質の分析と思います。本フォーラムの参加人数は30名弱といささか寂しいものでしたが、和気藹々とした雰囲気うちに、いつしか閉会の時間となりました。このフォーラムも相互理解の一助となったと確信しています。

また、この夜には、東京ビッグサイトの近くに和風居酒屋にて、親睦を深めるために、日韓シンポジウムのメンバーで懇親会を実施しました。和やかな雰囲気の中、3時間ほどの宴の最後には、「来年は韓国で会いましょう」と約束して別れました。来年春には、第3回の日本-韓国の若手溶接研究者の合同シンポジウムを実施する予定です。興味をもたれた方はお近くの運営委員までご連絡ください。

## グローバルネットワーク委員会からのお知らせ — AWF バンコク会議併催 TWS-JWS シンポジウム —

川上博士（グローバルネットワーク委員会委員長、  
若手会員の会運営委員会副委員長、三重大学）

Information from the Global Network Committee — TWS-JWS Symposium in Bangkok, Thailand —

第7回AWF（アジア溶接連盟）会議がタイ・バンコクにて開催されます。溶接学会および溶接学会記念基金助成活動「若手溶接技術者・研究者のグローバルネットワークの形成」委員会（通称：グローバルネットワーク委員会）では、TWS（タイ溶接学会）からの要請を受け、下記シンポジウムに若手研究者を派遣することになりました。企業および中立機関に所属されている若手研究者の方のご参加をお待ちしております。METALEX2006に参加される方の現地合流も大歓迎です。

シンポジウム概要は下記の通りです。

"Advance Technology in Welding Work"

日時：平成18年11月24日（金） 9:00～12:00

場所：タイ・バンコク BITEC（METALEX2006会場）

TWSから2～3件のプレゼンテーションを予定。

METALEX2006とは、今回で20回目を数えるASEAN最大の工作機械展示会のことです。展示会にあわせて750もの会議およびセミナーが開催されるそうです。本シンポジウムもその一つに含まれる予定です。

スケジュールの都合上、本案内はすでに若手会員の会メーリングリストにて配信させて頂きましたが、ご興味のある方は下記までご連絡頂きますようお願い申し上げます。

連絡先：

川上博士 Hiroshi KAWAKAMI

E-Mail: kawakami@mach.mie-u.ac.jp